

第2類医薬品

ひび・あかぎれ 浣腸剤

日本薬局方

グリセリン

(グリセロール)

Glycerin

500mL

【成分】グリセリン(C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>3</sub>)の84.0~87.0%液

発売元

中北薬品株式会社  
愛知県津島市白浜町字番場52-1

製造販売元

小堺製薬株式会社  
東京都墨田区両国4-36-9

2012年4月改訂(記載要領変更に伴う改訂等)  
本剤のご使用前にこの説明事項を必ずお読みください。

使用上の注意(外用)

相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - 潤滑やただれのひどい人
- 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

使用上の注意(浣腸用)

してはいけないこと

連用しないでください。[常用すると、効果が減弱し(いわゆる「なれ」が生じ)薬剤にたよりがちになります。]

相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 医師の治療を受けている人
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人(流産の危険性があるので使用しないことが望ましい。)
  - 1歳未満の乳児
  - 高齢者
  - 次の症状のある人。はげしい腹痛、吐き気・嘔吐、痔出血
  - 次の診断を受けた人。心臓病
- 2~3回使用しても排便がない場合は使用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

その他の注意

次の症状があらわれることがあります。  
立ちくらみ、肛門部の熱感、不快感

【効能・効果】(外 用)ひび・あかぎれ  
(浣腸用)便秘

【用法・用量】

(外 用)  
脱脂綿・ガーゼ等に浸して患部に軽く塗る。  
(浣腸用)  
本剤を常水で2倍に希釈し、浣腸器を用いて直腸内に注入する。  
注入量は希釈後の溶液の量として、次の通りとする。

12歳以上	1回30mL
6歳以上12歳未満	1回20mL
1歳以上6歳未満	1回10mL
1歳未満	1回5mL

1回量を直腸内に注入し、それで効果のみられない場合にはさらに同量をもう一度注入する。

【用法・用量に関連する注意】

- (外 用)  
(1)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。  
(2)目に入らないよう注意し、万一目に入ったときは、すぐに水又はぬるま湯で洗い流してください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。  
(3)外用のみ使用し、内服しないでください。  
(浣腸用)  
(1)定められた濃度に希釈して、よくかき混ぜてください。  
(2)本剤使用後は、便意が強まるまで、しばらくがまんしてください。(使用后、すぐに排便を試みると薬剤のみ排出され、効果がみられないことがあります。)  
(3)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。  
(4)特に幼児の場合には、安易な使用をさせ、浣腸にたよりすぎないように注意してください。  
(5)浣腸のみ使用してください。  
(6)浣腸器を無理に挿入すると、直腸粘膜を傷つけるおそれがあるので注意してください。

〈便秘しがちな人のために〉

- 規則的な排便の習慣をつけることが大切で、毎日時間をきめて一定時間トイレに入るよう心がけてください。また、便意をもよおしたときは、がまんせずトイレにいらしてください。
- 繊維質の多い食物と水分を多くとるように心がけてください。  
(例)野菜類、果物、コンニャク、カンテン、海藻など)
- 適度な運動、腹部マッサージなどを行うよう心がけてください。
- 早朝、起きがけに冷たい水または牛乳等を飲むと便意をもよおしやすくなります。

【成分】

本品1mL中、日本薬局方 グリセリン1mL含有します。  
[グリセリン(C<sub>3</sub>H<sub>8</sub>O<sub>3</sub>:92.09)として84.0~87.0%含有します。]

【保管及び取扱上の注意】

- 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- 小児の手が届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になりたり品質が変わるおそれがあります。)
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
- 希釈するための容器は清潔なものを使用してください。(浣腸)
- 使用残液は捨ててください。(浣腸)

【お問い合わせ先】

中北薬品株式会社 製薬工場事業部  
電話:0567-32-1431  
受付時間:9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

【副作用被害救済制度のお問い合わせ先】

(独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話:0120-149-931(フリーダイヤル)

開封日

年 月 日

使用期限:  
製造番号:

